

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小牧市民まつり開催委託事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生活交流課							
	事業期間	平成12年度以前			～ 平成30年度以降			担当係	交流係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		2 交流		1 住民相互のつながりを深める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	7		目	2		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	13 %			委託	87 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民の憩いの催事として、市民・行政・企業が一体となった運営・企画を行い、より多くの市民に親しんでもらえるまつりとする。														
	内容 (手段)	<p>・市民参加型の交流を目指し、参加する方も見る方も楽しく、また来たくなるようなまつりの実施委託 会場：小牧山、市民会館・市民館、まなび創造館、メロディーパーク、駅西広場、パレード 経費：市からの委託金、市内外の各事業所から多くの協賛金 ※平成23年度 決算 46,712千円(内 委託金(直接経費) 35,000千円、協賛金等11,712千円)</p> <p>①現在の会場 「小牧山会場」：毎年異なるテーマを掲げ、慣習に捉われない斬新かつ柔軟な会場。 ※第31回「戦国小牧山合戦」、第32回「海賊たちと世界大冒険」 「市民会館会場」：学校の文化祭的なイメージの会場。 ※八雲コーナー、こまきフレンドパーク(子どもが遊べる場)、バレエ、琴、民謡等 「駅前会場」：ダンスを中心とした新しい小牧を発見できるような会場。 『平成24年実施予定内容』 東日本大震災からの復興支援を願い、昨年同様、「つながろう日本」をサブテーマに開催。各会場で募金、チャリ ティー活動を行い、被災地へ届ける予定。 「小牧山会場」：今年は、「緑のファンダーランド～きっちゃんの大冒険～」と題し、市民まつりのマスコットキャラクター 「きっちゃん」をメインに、小牧山の自然を活かした会場。 「市民会館会場」：八雲コーナーほか飲食・物産エリア、バレエ、琴など各種団体発表、盆栽など展示を中心とした会 場。 「駅前会場」：ダンスミックスや各県物産フェアを中心としたメロディーパーク、生花展やカラオケ大会を中心としたラ ピオから成る会場。 「パレード」：三英傑行列やマーチングバンド中心に構成</p> <p>※基本的に参加団体は自主運営のため、費用は自己負担となるが、実行委員会から費用の一部助成している。ま た、コンテストなどの大会は、実行委員会が別途参加費を徴収している。</p> <p>②「第30回小牧市民まつり企画提案委員会」 平成21年度に第30回という節目をむかえるにあたり根底から市民まつりを見直し、市民が自ら育み、参加者の心 に残り、小牧の活気を創出するようなまつりとするため検討を重ね、現状の市民まつりをベースとしながら、将来的 に「小牧の新たな観光資源」となることを到達目標とすることが決定された。 委員：市民団体の代表、商工会議所、国際交流協会、公募市民、市役所若手職員など ・まつりの方向性や会場のあり方、市民主体のあり方、新しい組織体制などが検討された。 ・平成22年度から、まつり全体の企画・運営に携わる組織、「企画運営部会」を新設。公募市民を中心に小牧市民 まつりを運営。</p>														
受益者負担	無															

コスト	費用			単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額
		直接経費	千円	45,000	35,500	35,000	35,000	
正職員	従事者数	人	0.95	1.00	1.00	1.00		
		人件費	千円	5,053	5,319	5,319	5,319	
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	
費用合計		千円	50,053	40,819	40,319	40,319		
対前年比		%		81.5	98.7	100.0		
財源	一般財源	千円	50,053	40,819	40,319	40,319		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	績	総行事数	行事	目標	150	150	150
実績				160	152	171	
	開催会場数	箇所	目標	7	6	6	6
			実績	7	6	6	
	成果指標名	単位	目標				
			実績				
	来場者数		目標	180,000	185,000	185,000	185,000
			実績	183,000	185,000	145,000	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	H23年度は、小牧山会場がインターナショナルをテーマとして国際色豊かなイベントを行ったり、ステージなど各種団体の参加が増えたこともあり、行事数は達成できたが、来場者数に関しては、1日目の雨天もあり、目標を達成できなかった。 ※参考 1日目(雨天) 35,000人 2日目(晴天) 110,000人	
		事業実施における課題等	市民まつりも回を重ねることに規模が大きくなり、その結果会場が、市民会館、駅前、小牧山、パレードと分散化、また、参加者の固定化が起きている。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	市民まつりは、目的として市民相互の融和を深め、文化をはぐくみ、市民でつくるまちづくりを推進するため、「ふれあいの輪をひろげよう」のテーマのもとに市民総参加のまつりを実施するとある。市民まつりは、単にまつりを開催するという側面だけでなく、地域・団体がともに準備し、作り上げることで、地域・団体同士の絆も深まり、まちづくりにもつながっていることから、廃止・縮小は、市民の交流・発表の機会を奪ってしまうこととなる。	
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
判定理由		事業の廃止・休止したときの影響で記載したとおり、市民まつりの開催がまちづくりにもつながっており、実施主体も市民、団体が中心となっていることから、今後も「ふれあいの輪をひろげよう」をテーマのもとに、開催していくため。		
改善案等		市民まつりをよりよいものにしていくために、会場の集約化、公募による参加団体の募集、パレードの内容等について第35回開催を目途に、議論を進めるように、市として実行委員会に要請をしている。(下部組織の公募市民等による「企画運営部会」にて検討中)		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	市民まつりについては、多くの市民に親しんでもらえる市内最大のイベントとして、常により魅力のあるものにしていく工夫をしながら今後も継続すべきと判断する。 市民まつりの課題となっている会場のあり方(現在は、三会場に分散化しているが集約化したほうが良いか)については、公募市民等により構成された市民まつりの企画運営部会において、議論がされているところであるため、その検討結果などを基に、必要に応じて、会場の見直しを進める必要がある。